

協議会だより

令和8年（2026年）3月25日

北野中学校区

地域の子どもを育てる協議会事務局

事務局：北野中学校 011(882)0754

例年になく早い雪解けで春がいつもより早く近付いてきました。北野中学校は先日13日に、そして小学校は先日23日に卒業式を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、北野中学校区地域の子どもを育てる協議会も今年度の活動を無事に終わろうとしています。

この1年間、皆様からの「北野中学校区地域の子どもを育てる協議会」への御理解と御協力、誠にありがとうございました。令和8年度もよろしくお願いいたします。

『子どもをとりまくスマホの環境』

北野中学校 教頭 松浦 隆之

スマートフォンが普及し、生活の中に当たり前が存在する時代となりました。スマートフォンの本来的な目的は便利な道具として使用することです。LINEやInstagramなどのSNSも毎日当たり前のようになっている方も多いと思います。使い次第ですが一つ間違えば大きな問題に発展することも今の時代は少なくありません。毎日のように「スマホ」を発信源とするSNSトラブルのニュースが報道されています。スマートフォンの扱いについては、例年中学校新入生保護者説明会で警察の方から「フィルタリングサービス」を使うようにと啓発されています。しかし実態として、SNSによるトラブルが小中学校問わず発生している現状です。スマートフォンの使用について学校では管理できません。保護者の皆様におかれましては、お子さまがどのように「スマホ」を使用しているかをしっかり管理していただくようお願いいたします。特に本人の許可なく他人の画像を載せるなどのトラブルが多く、個人情報をもやみにアップしてはいけないと指導していますが、トラブルは後を絶ちません。令和8年度、新学期を迎える今、ご家庭でお子さまとスマートフォンの扱いについてご確認いただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

心と心をつなぐ「北野のカレー」

北野小学校 教頭 道佛 智志

北野小学校では「北野のカレー」という特色ある取組を行っています。春には畑の土づくりから始め、にんじん、玉ねぎ、じゃがいもの種まきや植え付けを行い、秋には収穫し、その野菜を材料として学校で調理した「北野のカレー」を給食で食べます。そして、次年度に向けた土づくりで1年を終えるという比較的長い活動です。

野菜はペア学年で育てます。1・6年生がじゃがいも、2・4年生が玉ねぎ、3・5年生がにんじんを担当します。春はまだぎこちない関係のペア学年ですが、野菜を育てるという共通の目標をもち、互いに関わり合いながら活動していきます。下の学年の子どもたちは、上級生へあこがれの眼差しをもちながら活動し、上級生は下の学年の子どもたちに思いやりあふれる関わりをします。「こうやるといいよ。」「ありがとう。」などの言葉は正に心が通い合う瞬間です。「北野のカレー」の取組を通して、「あこがれ」、「感謝」、「支え合い」などの様々な心と心のつながりが生まれ、それが子どもたちの笑顔へ昇華しました。本校の重点目標である「笑顔でつながる北野の子」の実現に向けた大切な取組になっています。今年度も本校への様々な御協力を賜りありがとうございました。これからも、北野小学校が地域の皆様とともに、子どもたちの健全育成に取り組み、さらなる発展を目指していけるよう努力してまいります。今後とも、温かい御支援をよろしくお願いいたします。



6年生と1年生でのじゃがいもの収穫

つながりを通して

北野平小学校 教頭 齊 葉子

先日、町内会長が5年生の総合的な学習「認知症サポーター」の学習において、「認知症高齢者声掛検索訓練」について教えてくださいました。

また、2年生の生活科「交通指導員さんへのインタビュー」では、毎朝見守りをしてくださっている交通指導員の方々が、子どもたちの質問に丁寧に答えてくれました。さらに日頃から学校や子どもたちを見守ってくださっている地域の方から、子どもたちの様子を教えていただくことがあります。交通指導員さんがしばらくお休みされた際、次に会ったときには「どうしたの」と心配して声を掛けたこと、道端に倒れていた高齢者に気付き、助けようとしたことなど、子どもたちの優しさを感じるエピソードが多く寄せられています。



北野地区では、アシリバツ川のヤマメ稚魚放流をはじめ、夏の街頭啓発、北野ふれあい夏祭り、ラジオ体操会、四町合同盆踊り大会、青少年音楽のひろばなど地域とのつながりを感じられる行事が数多く行われます。各町内会が開催するクリスマス会や「雪灯りのつどい」にも、子どもたちは楽しんで参加しています。

「北野にふるさどを感じてほしい」---そうした町内会や地域の皆様とのつながりが、子どもたちの思いやりの心を育てています。

いよいよ北野地区でも来年度から「札幌らしいコミュニティスクール」が始まります。北野中学校・北野小学校が連携し、これまで培われてきた地域力を生かしながら、学校・保護者・地域が目指す子ども像を共有し、子どもたちが「地域の中で生きる力」を高めていけるよう取り組んでまいります。

『R7 まちのあかり』

清田小学校 教頭 山崎 稔英

2月6日(金)、令和7年度の「まちの灯り」を行いました。今年度は、積雪が十分過ぎる位あったため、問題なく実施することができました。

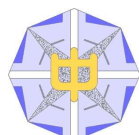
清田小学校では「まちの灯り」を持続可能な取組とするために、教育課程の中に位置付け、1、2年生、ひまわり学級の生活科等の時間を使って児童が雪の灯籠を作成するようにしています。2年生が1年生に昨年度の経験を伝えることで、お互いに学ぶよい機会となっています。

夕方、PTAが中心となって点火の準備をし、雪の灯籠に火を灯しました。完成後、保護者の方やほかの学年の児童も、日が落ちてきれいに灯っているスノーキャンドルを見に来てくれ、学校前を通る地域の方も足を止めてみってくれる様子がありました。

清田小学校では、これからも、地域・保護者の皆様と一緒に、子どもたちの笑顔が生まれる「持続可能な取組」を模索していきたいと考えています。



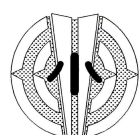
※北野中校区は、一部を除く北野小校区・北野平小の全校区・清田小校区の一部となっています。



北野中



北野小



北野平小



清田小

■各学校の様子はHPでもご覧になれます。■
北野中 <https://www.kitano-j.sapporo-c.ed.jp>
北野小 <https://www.kitano-e.sapporo-c.ed.jp>
北野平小 <https://www.kitanodaira-e.sapporo-c.ed.jp>
清田小 <https://www.kiyota-e.sapporo-c.ed.jp>